

技術士 CPD に関する CPD 登録の状況と今後の展望

1. 経緯

平成 12 年の技術士法改正により、技術士の資質向上の責務が明文化された。

日本技術士会は、この法改正に伴い、技術士 CPD のあり方について検討するため、「技術士継続教育（CPD）実施方策検討委員会」を設置し、その検討結果は「技術士 CPD（継続教育）について」として平成 12 年 7 月 4 日付けで取りまとめ公表した。

日本技術士会は、この「技術士 CPD（継続教育）について」を踏まえて、技術士 CPD ガイドブックや技術士 CPD のパンフレットを作成し、技術士 CPD についての啓発に取り組むとともに、これまで次のような方策を実施してきた。

○平成 13 年度から、CPD の実績（CPD 記録）の登録の受付を開始した。

○平成 17 年 4 月から、CPD 登録記録に基づき、技術士 CPD 登録証明書の申請・発行を開始した。

○平成 18 年 3 月から、CPD 登録が一定の要件を満たしている日本技術士会会員は、技術士 CPD 認定会員としての申請・認定を開始した。

○その間、技術士 CPD ガイドブックを改訂（第 5 版）し、平成 23 年 4 月には技術士 CPD ガイドラインとして改訂・発行した。

このガイドラインの主な改訂は、技術士 CPD 登録証明書及び技術士 CPD 認定会員の申請・発行にあたっては、CPD 記録の内容について審査を行うこととした。また、それまで日本技術士会会員のみを対象とした技術士 CPD 認定会員の制度を非会員も対象とした。

2. 現況

①CPD 登録者数等

- ・技術士 CPD の登録者の数は、平成 23 年度末で 7862 名（うち日本技術士会会員は 6182 名）であり、技術士登録者数全体から見ると 10%程度に留まっている。
- ・技術士 CPD 登録証明書の発行件数は、少しずつ増加しており、平成 23 年度の発行件数は 326 件であった。その殆どは官庁への提出や資格更新のために利用されている。
- ・技術士 CPD 認定会員の数は、平成 23 年度末までの累計で 1246 名（更新手続中等を除く実数は 860 名）名であり、新規の申請は少なくなっている。

②CPD 登録内容の質の向上

技術士 CPD 登録証明書の公的な活用が増えていることから、技術士 CPD 登録内容の審査を平成 23 年 4 月から実施している。現在、平成 23 年 4 月に改定・発行した技術士 CPD ガイドラインの普及啓発に取り組むとともに、この 1 年間の CPD 審査経験を踏まえて、審査の判断基準等を明確化しているところである。

③CPD 登録証明書の活用

地方整備局、地方自治体では、プロポーザルや総合評価方式に CPD の実績を評価項目に取り入れている事例が見られるようになった。RCCM の資格更新の際にも CPD 実績として活用されている。

3. 今後の展望

技術士 CPD の今後の展望として、次のようなことを考えている。

①技術士 CPD の場の提供の充実を図り、技術士 CPD 登録者を増やす。

②技術士 CPD の産業界での活用促進により、技術士 CPD の実施・登録の促進を図る。

③技術士 CPD 登録の質の向上と維持のために、適切な CPD 審査を実施する。

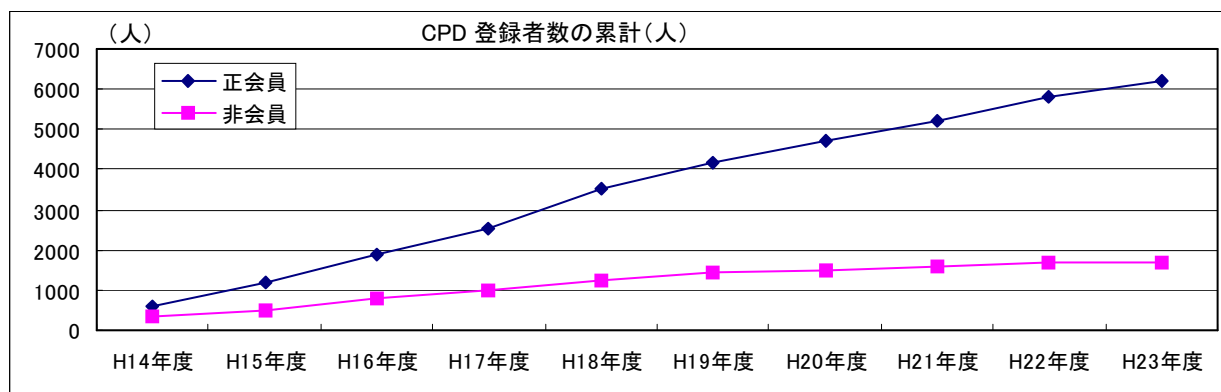
④他の CPD 実施・登録団体（建設系 CPD 協議会など）との連携により、技術者 CPD の充実を図る。

以上

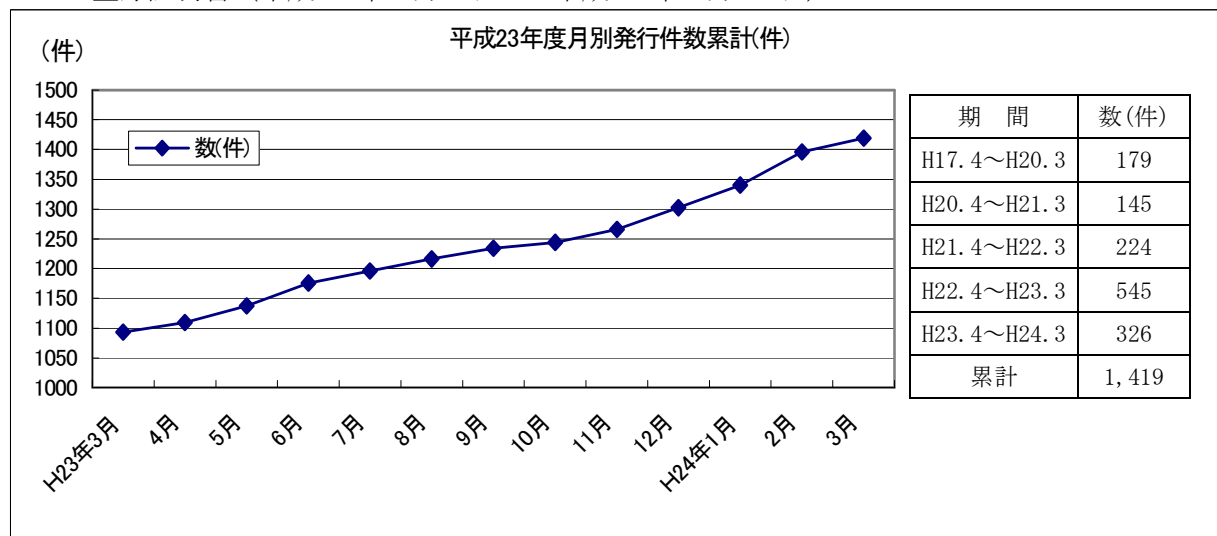
資料1 技術士 CPD 登録等実績

1. CPD 登録者 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)

平成 24 年 3 月末 (人)	WEB			文 書			合 計		
	正会員	非会員	合計	正会員	非会員	合計	正会員	非会員	合計
	5,679	1,204	6,883	503	476	979	6,182	1,680	7,862



2. CPD 登録証明書 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)



3. CPD 認定会員 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日)

